

♩ Joyful male chorus ♩  
『男声合唱を楽しむ会』

第5回 サロンコンサート



(ひるがの高原 からまつ荘:桂川 画)



(7月31日～8月1日 夏合宿:ひるがの高原 民宿『からまつ荘』)

指揮・向川原 慎一 小平 康義 ピアノ・早瀬 洋子  
司会・伊藤 春雄

日時: 2010年10月31日(日)

開場 14:00 開演 14:30 終演 15:30

場所: 名古屋市音楽プラザ 1F コーヒーラウンジ(サロン)

主催 男声合唱を楽しむ会

H.P <http://homepage2.nifty.com/chorus-dandan/>



## 《ご挨拶》



本日は「男声合唱を楽しむ会」のサロンコンサートに、ご来場いただき誠に有難うございます。

このサロンコンも、皆様方の暖かいご声援のもと、今回で5回目を迎える事となりました。

昨年メインステージは高田三郎作曲の「水のいのち」(全5曲)を歌わせていただきましたが、今年もまた意欲的に、同氏作曲の「心の四季」(全7曲)を歌う事といたしました。

10カ月足らずの練習期間で、我々のレベルにとっては少々手ごわいこの新曲をまとめるため、会員それぞれ苦勞と努力をした結果と共に、熱心に指導して下さった客演指揮者の向川原さん、ピアニストの早瀬さんの絶大なおかげもあり、何とか皆様に聴いていただける程度にまとめたのではないかと思います。どうかどうでしょうか。

コンサート終了後に、皆様方の忌憚りの無いご意見などを、アンケート用紙に書いていただければありがたく、よろしくお願ひ申し上げます。

メインステージ以外にも、向川原さんに編曲していただいた曲など、皆様に楽しんで聴いていただけると思われる曲を歌いますので、約1時間どうぞごゆっくり、おかつろぎ下さい。

会長 藤野 倫男

## プログラム

### ♪ 第1ステージ 男声合唱愛唱歌から 指揮:向川原 慎一 ピアノ:早瀬 洋子

サウンド・オブ・ミュージックから『朝の讃美歌〜ハレルヤ』

……………オスカー・ハンマースタイン作詞 リチャード・ロジャース 作曲 北野 實 編曲

自由の歌……………L・ウーラント 原詩 夏目 利江 訳詩 JH・シュウンツ 作曲

男声合唱組曲『雨』から 1 雨の来る前 2 武蔵野の雨

……………伊藤 整/大木 惇夫 作詞 多田 武彦 作曲

Amazing Grace ………………黒人霊歌 青木 肇 編曲

### ♪ 第2ステージ 日向地方の民謡による『三つの無伴奏男声合唱曲』

指揮:小平 康義

刈干切唄……………石井 欽/小倉 朗 作曲 向川原 慎一 編曲

子守唄……………小倉 朗 作曲 向川原 慎一 編曲

木挽唄……………小倉 朗 作曲 向川原 慎一 編曲

### ♪ 第3ステージ My song, Your song みんなで歌おう

指揮:小平 康義 ピアノ:早瀬 洋子

早春賦……………吉丸 一昌 作詞 中田 章 作曲 西崎 善太郎 編曲

里の秋……………斎藤 信夫 作詞 海沼 實 作曲 福永 陽一郎 編曲

故郷……………高野 辰之 作詞 岡野 貞一 作曲 源田 俊一郎 編曲

### ♪ 第4ステージ 男声合唱組曲『心の四季』

指揮:向川原 慎一 ピアノ:早瀬 洋子

……………吉野 弘 作詞 高田 三郎 作曲 須賀 敬一 編曲

1. 風が

2. みずすまし

3. 流れ

4. 山が

5. 愛として風

6. 雪の日に

7. 真昼の星

### ♪ 全員合唱「浜辺の歌」



## 《 今までの活動 》

- 2003年4月 第一回設立準備委員会開催
- 2003年6月 第一回練習開催
- 2004年8月 「音の交流会」開催:三菱重工 健保会館
- 2005年4月 指揮者「向川原 慎一」先生招聘
- 2005年9月 愛知万博『あいち・おまつり広場』公演
- 2006年8月 「ファミリー合同練習会」開催:音楽プラザ
- 2007年8月 「サロンコンサート」開催:音楽プラザ
- 2008年9月 「サロンコンサート」開催:音楽プラザ
- 2009年3月 「シルバーコーラス交歓発表会」出演  
:中京大学文化市民会館
- 2009年11月 「サロンコンサート」開催:音楽プラザ
- 2010年3月 「第2回シニアコーラス交歓発表会」出演  
:中京大学文化市民会館
- 2010年10月 「サロンコンサート」開催:音楽プラザ

第2回シニアコーラス交歓発表会  
(2010年3月3日)



## 《 プロフィール 》

### ◆指揮 向川原 慎一



早稲田大学第一政治経済学部卒業。長年にわたる合唱指揮・指導を行い、現在もいくつかの合唱団の指揮を務める。そのかたわら、歌曲を中心とした作曲活動を続け、2007年の奏楽堂日本歌曲コンクール・第15回作曲部門(中田喜直賞の部)では2曲が本選に進み、優秀賞と入選を得た。

また、合唱編曲では2008年春、カワイ楽譜から「混声合唱のための5つのトスティ歌曲」と「ドボルザークのジプシーの歌」が出版されている。小林研一郎氏に師事。

### ♥ピアノ 早瀬 洋子



愛知教育大学音楽科、同大学院修了。

学生時代より名古屋二期会、名古屋オペラ協会、名古屋市文化振興事業団など愛知・岐阜・三重の多数のオペラ団体にて、オペラ、ミュージカルの練習ピアニスト、副指揮者を努める。

現在、伴奏ピアニストとして活躍する傍ら、名古屋芸術大学では実技助手を担当している。

栗原一身、平尾はるな、山崎晴代、三浦洋一、ジャンニ・クリスチャックの各氏に師事。

### ♠司会 伊藤 春雄



三菱重工業株式会社 名古屋航空宇宙システム製作所に入社。

退社後、東海ラジオ『さん!さん! モーニング』を始め、岐阜放送、CBCラジオなど、数多くのパーソナリティを務める。

また鈴鹿サーキットで30年以上にわたってF1をはじめフォーミュラニッポン等のレースアナウンサーを担当。最近では地元コミュニティFM放送局を設立するために活動している。



## 《曲目解説》

### 第1ステージ 『男声合唱曲集から』

#### ◎The Sound of Music より「朝の讚美歌」、「ハレルヤ」

レックス アドミラビリス エウ トゥリウムファトル ノービリス  
〈♪Rex admirabilis Et triumphator nobilis …(イエスキリスト 気高く輝かしい 神聖な慈愛に満ちた素晴らしき王 全ての者が慕う。ハレルヤ!!)〉

「ドレミの歌」、「エーデルワイス」など、誰もが聞き、馴染みのある曲を数多く含むミュージカル映画、The Sound of Music の中の一曲。主人公マリアが修行をする教会の修道院から流れる讚美歌が朝日に輝くアルプスの山々に高く低く響きわたります。

#### ◎自由の歌(Freie Kunst)

〈♪歌え、いざ、若人 声も高らかに、ほめよたたえよや 若きいのちを…〉

軽快で歯切れの良い、いかにも男声合唱らしい男声合唱曲です。戦前から愛唱曲として広く歌い親しまれています。

#### ◎組曲「雨」より 1. 雨の来る前 2. 武蔵野の雨

〈♪ザアーツとやって来いよ!!夏の雨!!〉で始まるこの曲は、多田武彦作曲 組曲「雨」全6曲の中の第1曲目です。突然、堰を切ったようにやって来る夏の夕立。物語を語るかのように降る霧雨。人の営みの中で雨とのかかわりは切ってもきれないものがあります。自然の中で雨が表す様々な表情を歌います。

#### ◎アメージング グレイス(Amazing Grace)

〈♪Amazing grace how sweet the sound. That saved a wretch like me. (アメージング グレース 何と美しい響きであろうか 私のような者までも救ってくださる。道を踏み外しさまよっていた私を神は救い上げてくださり…)〉

英国人牧師ジョンニュートンが18世紀半ばに作り、その後、黒人霊歌の定番として有名になったと言う説が有力なポピュラーなスピリチュアル・ソングです。

### 第2ステージ 日向地方の民謡

#### ◎刈干切唄

〈♪この山の 刈干しゃ すんだヨ 明日はたんぼで 稲刈ろかヨ もはや日暮れじゃ 迫々(さこさこ)かけるヨ…〜〉 (注)迫々(さこさこ):山陰や谷間のこと。

宮崎県北部に位置する高千穂地方では、野山に生えているササやカヤなどを晩秋に刈り取り、よく干してから家の屋根を葺(ふ)き、また、山野の雑草を刈り取って乾燥させ、牛馬の冬場の飼料にしてきました。「刈干切唄」はその作業の際の労働唄です。

#### ◎子守唄

〈♪さるけ さるけ さるのこ うっつけ うっつけ うしのこ。ねむれ ねむれ ねこのこ うちのとめちゃんが ねんねすりや。…〉

子守唄には、赤ちゃんを眠りに付かせるためのものや、子守奉公に出た子守娘の奉公の辛さと郷愁を口ずさんだものなどがありますが、この子守唄は、どこかおどけていて、赤ちゃんと戯れ、あやしているのでしょうか。

#### ◎木挽唄

〈♪ヤーレ ヤーレ 鋸よ 下がれよ すみまさがれ われと俺との金もうけよ〜〉

山地の多い宮崎県は県下全域に木挽唄が伝わっていて昔ながらの風情が残っていると言われていています。南国のどこまでも青く澄んだ空の色をそのまま旋律に移したような明るくてのびやかな仕事唄です。



《 歌 詞 》 My Song / Your Song、みんなで歌おう  
第3ステージ

「早春賦」 吉丸一昌作詞・中田章作曲

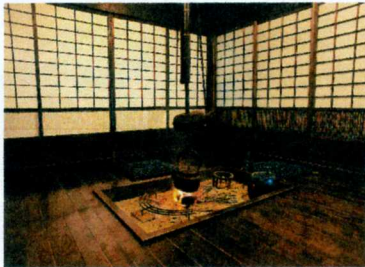
春は名のみ風の寒さや  
谷の鶯 歌は思えど  
時にあらずと 声も立てず  
時にあらずと 声も立てず

氷解け去り葎は角ぐむ  
さては時ぞと 思うあやにく  
今日もきのうも 雪の空  
今日もきのうも 雪の空

春と聞かねば知らでありしを  
聞けば急かる 胸の思を  
いかにせよとの この頃か  
いかにせよとの この頃か



「里の秋」 斎藤信夫作詞・海沼実作曲



静かな静かな 里の秋  
お背戸に木の実の 落ちる夜は  
ああ 母さんとただ二人  
栗の実 煮てます いろりばた

明るい明るい 星の空  
鳴き鳴き夜鶉の 渡る夜は  
ああ 父さんのあの笑顔  
栗の実 食べては 思い出す

「故郷」 高野辰之作詞・岡野貞一作曲／文部省唱歌

兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川  
夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷

如何にいます父母 恙なしや友がき  
雨に風につけても 思ひ出づる故郷

志をはたして いつの日にか帰らん  
山は青き故郷 水は清き故郷





## 第4ステージ 『心の四季』

高田三郎作曲の『心の四季』は、1967年に芸術祭参加作品として、NHK名古屋から放送初演されました。『水のいのち』の次期作として、多くの合唱人の支持を得て、日本の多くの合唱団で取り上げられ、歌い継がれています。

全曲を通してとても細やかで美しい曲想を伴っています。又、吉野弘の詩は内省的で 歌い手や聴衆に、人間の生き方を問いかけているかのようです。高田三郎の深い精神性が 音楽から伝わってくる組曲です。

### 1. 「風が」

年々、齢を重ねていく人生を、春夏秋冬に例えあげ、それぞれのワンシーンを印象的に歌いあげた透明感のある曲です。平易ではありますが格調の高い音楽が内在しているところにこの「風が」の素晴らしさがあります。



### 2. 「みずすまし」

人間は日常という水面に浮かんでいるみずすましのようだ。そして分厚い日常を突き破れない人間の心の弱さを諷め、みずすましのようになれと私たちに呼びかけています。



### 3. 「流れ」

流れは人生そのものである。人はそれぞれにさまざまな生き方で人生を生きる。人はそれぞれの生き方に共鳴し励まし合いながら人生の流れを <sup>さかのぼ</sup> 遡っている。

### 4. 「山が」

山は憧れであった。あまりの気高さに畏れさえ抱いた。だが山もまた地平の彼方、見上げた空のはるかな高みに焦がれているのだ。

### 5. 「愛そして風」

愛は人の心を危うくし、そして弱くする。人は何故、愛を求めて生きるのだろうか。愛すること、愛されることを。過ぎてみれば、そんな悔いばかりが心の中にわだかまっている。



### 6. 「雪の日に」

切なる願いのために、逃れ得ない宿命をそれでも乗り越えようと壮絶な戦いを挑み、ついには敗れるしかなかった過酷な運命の歌である。宿命の重さ、真実の重さ、しかし雪の切なる願いもまた、真実であった。

### 7. 「真昼の星」

自らの宿命を受け入れた者の心の中には、穏やかな光に満ちた真昼の青空が広がっている。安らかに心を澄ませば、陽光のまぶしさに隠されていた星々のほのかな白い影が天空のはるかな奥、蒼黒の深い闇の中から、静かにきらめき浮かび上がってくる。



## 〈 役員 〉

- 会長 : 藤野 倫男    ■ 副会長 : 大嶋 順治
- 総務 : 岩崎 幸男   大内 住夫   ■ 会計 : 橋本 光正
- 渉外 : 三宅 宏幸   岩田 照雄
- 広報 : 井田 三郎   木村 幹夫   ■ 楽譜 : 木村 幹夫
- パートマネージャ :
- (T1) 三宅 宏幸   岩田 照雄            (T2) 堀尾 貞臣   桂川 昇  
(B1) 古賀 寛哉   塚原 徹也            (B2) 大嶋 順治   木村 幹夫
- 技術 (団内指揮者) : 小平 康義   岩崎 幸男

## 〈 出演者名簿 〉

- T1: 井田 三郎   岩田 照雄   向後 宣彦   小平 康義  
     中村 宏   橋本 光正   三宅 宏幸   横田 勉            (8名)
- T2: 大河内康二   桂川 昇   高瀬 幸夫   田口 参之  
     林 光明   堀尾 貞臣   門間 清秀   横井 邦明            (8名)
- B1: 岩崎 幸男   大内 住夫   古賀 寛哉  
     塚原 徹也   藤野 倫男    (5名)
- B2: 大嶋 順治   加藤 良   木村 幹夫   鈴木 秀夫  
     田中 昭   寺田 義幸    (6名)

### ●●● 会員募集中 いっしょに歌いませんか? ●●●

- ・練習日 : 月2回 (第2土曜日及びその後2週後の日曜日)
- ・練習場所 : 名古屋市音楽プラザ(金山) 他 名古屋市内文化小劇場
- ・会費 : 2,000円/月 (入会金 1,000円)
- ・問合せ先 : 岩崎幸男(090-6593-4831) 大嶋順治(090-1292-4378)  
                 岩田照雄(090-5094-4773) 三宅宏幸(090-4798-5127)
- ・会の理念 : 歌をこよなく愛し、何時までも若々しく、お互いがお互いを理解し合い、歌を通じて健康で明るく豊かな人生を送る。
- ・会の目標 : より深く、熱い情熱を持って自分たちの音楽を模索し続け、他に類のない合唱団を目指す。

(練習風景)





《 全員合唱 》

浜 辺 の 歌

作詞 林 古 溪  
作曲 成 田 為 三  
編曲 和 泉 一



1. あ し た—は ま—べ—を さ—ま—よ え—  
2. ゆ う べ—は ま—べ—を も—と—お れ—



ば — む か し—の こ—と—ぞ し—  
ば — む か し—の ひ—と—ぞ し—



の — ば る る — か ぜ の お — と よ く  
の — ば る る — よ す る な — み よ か



も の さ ま よ — よ す る — な —  
え す な み よ — つ き の — い —



み — も か — い の い ろ も —  
ろ — も ほ — し の か げ も —

「浜辺の歌」

林 古 溪 作詞 成 田 為 三 作曲 和 泉 一 編曲

あした浜辺を さまよえば  
昔のことぞ 忍ばるる  
風よ音よ 雲のさまよ  
寄する波も 貝の色も

ゆうべ浜辺をもとおれば  
昔の人ぞ 忍ばるる  
寄する波よ 返す波よ  
月の色も 星のかげも